
国語分科会

I 研究のあゆみ

4月17日(月)	2023年度名教組教研オリエンテーション (2023年度名教組教育研究活動の進め方)	【教育館】
5月1日(月)	研究計画の検討	【教育館】
5月2日(火)	発表テーマ報告・集約	
6月6日(火)	研究内容の検討 (第2次実践の検討と研究のまとめ方)	【教育館】
7月21日(金)	レポートの検討(又は個別指導)	【東桜小】
8月21日(月)	レポートの検討(又は個別指導)	【東桜小】
9月5日(火)	市集会発表内容の検討(リハーサル)	【教育館】
9月16日(土)	第73回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会	【ウインクあいち】

II 研究協議の概略

「未来を創ることばの力」の育成をテーマに、様々な方向からことばの力を育成することをめざした実践が、34本のレポートにまとめられている。

目の前の子どもたちの課題を的確に捉えつつ、児童生徒が自ら「ことばの力」を獲得していけるような手立てを工夫した実践や、友達とアドバイスし合ったり、考えを共有したりするといった、対話的な活動や協働的な学びに重点を置いた実践が、特に多く報告された。イメージマップや構成マップといったオリジナルのツールをはじめとした、タブレット端末を活用した実践が数多く報告された。実践者が、子どもたちの「主体的な学び」を追究し、日々試行錯誤しながら実践に取り組んでいることが分かる。

III 今後に残された課題

- 個別最適な学びが進められる中で、多くの児童生徒に対して、「人を納得させられる言葉を操る力」を、量と質を担保しながら、いかにして授業に落とし込んで習得させていくか。(評価の問題も含む)
- 交流や共有といった活動を、どの場面で、どのようにして(テーマや課題を明確にして)行うと効果的であるか、熟考と精選が必要である。
- ICTの活用をはじめ、現状で進められていることと、「学びのコンパス」との整合性をいかにして図っていくか。